

フラタス

かしこい子 やさしい子 たくましい子
尾島小学校だより 平成26年3月12日



感動的だった「卒業生を送る会」

3月5日（水）の3・4校時に『卒業生を送る会』が行われました。明るく、元気で



親切で働き者の6年生に心からの感謝を込めて、各学年とも合唱、合奏、群読など工夫した発表をしました。練習の成果が十分発揮できて、最高の出来になりました。心がほっこり温かくなるような素晴らしいひとときを過ごせました。

冷たい雨の中、ご来校くださいましたたくさんの保護者の皆様、ありがとうございました。

↑感謝の気持ちがこもった上手な演奏になりました

『おでかけクラシック』コンサートにうっとり

3月6日（木）『おでかけクラシック』コンサートが5年生を対象に行われました。これは藪塚文化ホールの事業の一環で、「子どもの頃から文化芸術に親しむことで、心の豊かな大人を育てる」という目的で行われているそうです。

東京芸術大学の大学院生の女性が二人来校し、ピアノとバイオリンの演奏を聴かせてくれました。「ハンガリー舞曲 愛の挨拶・きらきら星変奏曲」等の演奏と曲や楽器にまつわる解説もしてくださいました。心豊かなひとときを過ごすことができ、お子さんたちも大感激でした。演奏を聴く態度もとても立派でした。



↑素晴らしい演奏と美しいドレスにうっとり

新しい竹馬、新しいボール、新しい長縄で楽しんでいます



平成25年度の資源回収の収益金で、ミニサッカーゴール、竹馬、ボール、長縄を購入しました。どれも体育の授業や休み時間に使われ、体力の向上に活用したり、友だちとの楽しい遊びで仲間づくりに一役買ったりしています。

← みんなで仲良くピカピカの竹馬で遊びます

3・11「東日本大震災」あの日をわすれない

2万人以上の方が亡くなったり、行方不明になったりした東日本大震災からもう3年が経ちました。計画停電、それに伴う簡易給食、ガソリン不足や生活物資の品薄状態など、私たちも厳しい体験をしました。

あれから3年経ち、私たちの生活は元通りになりましたが、東北ではまだまだつらく厳しい生活を強いられている方がたくさんいます。

貴い犠牲を通して学んだことを忘れないために、また、震災を風化させないために、尾島小学校では3月11日、さまざまな取組をしました。半旗を掲

げ、午後2時46分に黙祷をささげました。給食ではカンパンを提供し、各教室で防災について話しました。備蓄してある非常用飲料水をおたよりと共に家庭に持ち帰ってもらい、いざというときの家族の対応について話し合うきっかけにしてもらいました。このような取組を通して、防災について考え、自分の命を自分で守ることをあらためて決意しました。一生懸命勉強して力を身に付けいざというときに困っている人や弱い立場にいる人のためにその力を発揮しようということも約束しました。

3月11日は命の尊さについて考える貴重な1日になりました。



↑ 給食でカンパンを食べました。震災当時、少ないカンパンを分け合って食べたそうです

(文責 石崎 幸子)